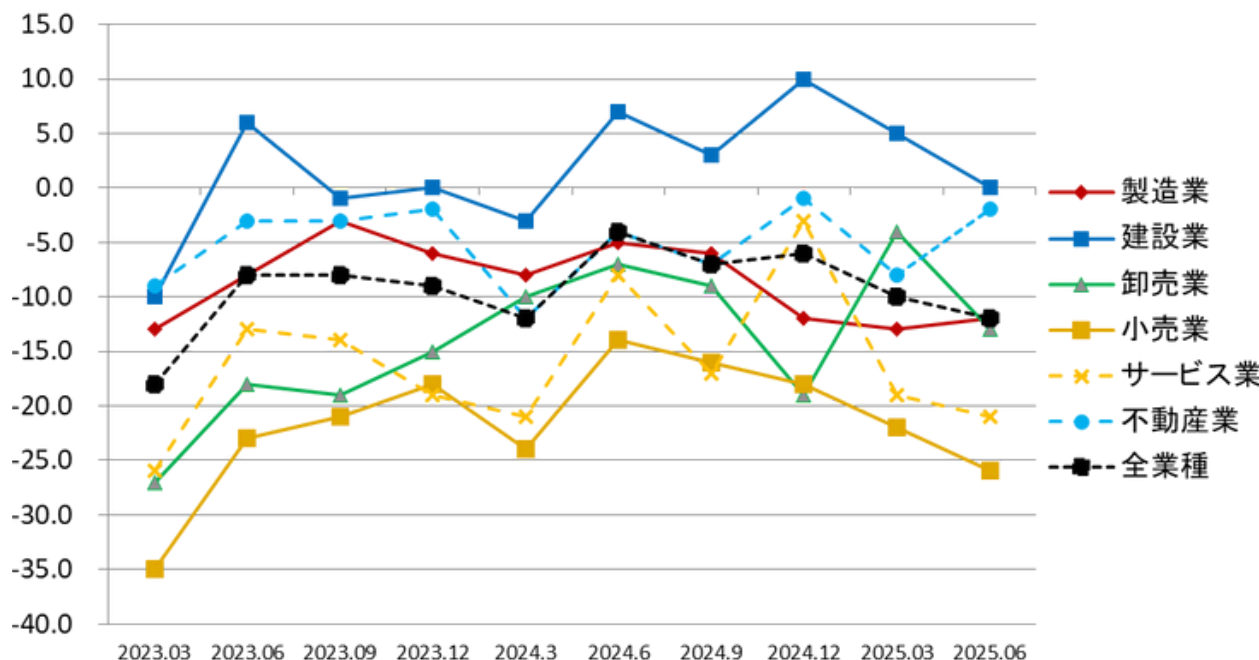


多摩地域の小規模企業 業種別業況判断D Iの推移



※製造業・建設業は19人以下を、卸売業・小売業・サービス業は4人以下を小規模企業としています。出典：多摩信用金庫 多摩けいざいNo.113

注目の補助金・奨励金紹介



小規模事業者持続化補助金
補助率2/3 最大50～250万円



**カスタマーハラスメント
防止対策推進事業奨励金**
40万円



**事業環境変化に対応した経営基盤強化事業
(小規模事業者向けアシストコース)**
補助率2/3 最大200万円

業種	今回	変化
全業種	-12	2 ▼
製造業	-12	1 ▲
卸売業	-13	9 ▼
小売業	-26	4 ▼
サービス業	-21	2 ▼
建設業	0	5 ▼
不動産業	-2	6 ▲

ライバル（競合）を研究！



「うちのビジネスは新しいので競合はいない」相談を受ける中で「競合がない」とお話をいただくことがあります。話を直接同じ商品やサービスを手作りのアクセサリを作る事業では、デパートでの既製品、ハンドメイド作家、趣味でアクセサリを作る人なども競合となりえます。競合分析は競合他社の商品やサービスを分析することで、自社の強み・弱み・機会・脅威を把握する方法です。事業を取巻く「見えない競合探し」や「潜在的な市場探し」のヒント・やり方を商工会に相談してみませんか

2025年度版の小規模企業白書が、中小企業庁より発行されました。白書の中で、円安物価高の継続、生産投資コスト増、人手不足などで、小規模事業者を取巻く状況は引き続き厳しいとあります。

また、厳しい状況に対応するため、支援機関など外部との連携強化が強調されています。商工会などの支援機関を活用していきましょう。

製造業



電力料金高騰が続いています。コスト削減に取り組みましょう。クールネット東京（東京都地球温暖化防止活動推進セン

ター）では専門家派遣でエネルギーの使用状況を診断し、光熱水費削減のための省エネに関する提案や技術的な助言を行う「省エネ診断」を行っています。空調管理や、LED照明への切り替えて、約50%以上の電力削減効果が期待できることもあります。暑い夏を機会に更なる省エネに取り組みましょう。

サービス業



人材不足が顕著な業種となっています。人材不足に対応するため、デジタルツールの導入を通じて生産性向上を図りましょう。東京しごと財団「東京都働き方改革パワーアップ応援事業」では、AIチャットボット等デジ

タルツールを導入する際の具体的な計画立案や運用に関する助言を受けることができます。デジタルツールを活用することで問い合わせ対応などスタッフの負担が軽減します。人手不足をデジタルツールで補いましょう。

小売業



物価高騰が続いており価格転嫁が課題です。価格転嫁とは、仕入れ価格や人件費の上昇分を適切に販売価格に反映することです。中小企業庁が設置する「価格転嫁サポート窓口」では、価格交渉の進め方のアドバイスを行っています。また、毎年9月は「価格交渉促進月間」として、政府が価格転嫁

の広報を強化し、価格転嫁のきっかけづくりを行っています。価格転嫁の一つの機会にしましょう。

建設業



この夏の建設現場は熱中症のリスクが特に高いです。気象庁のホームページでは、毎日の暑さ指数（WBGT）予報が掲載されています。暑さ指数予報にあわせて休憩を増やすなど当日の作業を計画しましょう。また、厚生労働省「熱中症予防のための情報・資料サイト」では、熱中症対策のリーフレットやポスターがあります。現場の掲示板に貼るだけでも従業員の意識向上に繋がります。

💡ストーリーテリングで魅力を語りましょう💡

以下の2つの文章は、どちらが魅力的に感じますか？

①福生市で開催されるお祭りです

②七夕の伝統・福生の歴史、そこで暮らす人々の想いが織りなすお祭りです

①②ともに、福生七夕まつりを表現していますが、後者の方が、お祭りの魅力がダイレクトに伝わります。商品やサービスを紹介する際にも、想いや誕生秘話をあわせて伝えることで差別化や独自性の確立につながります。自社の商品やサービスを改めて見つめなおし、ストーリーにのせて販売してみませんか。どのような切り口でストーリーを作るかや、具体的な周知方法などについて、商工会にぜひご相談ください。